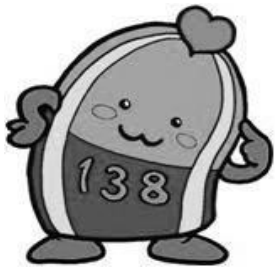
一宮の文化財について調べるには？



一宮市には、国指定、県指定、市指定合わせて３００あまりの指定文化財があります。
ここでは、これらの文化財について調べるために参考になる資料やインターネットの情報について紹介します。

史跡・建造物を調べる

『新編一宮市史　本文編上』
一宮市　1977 年
7 階郷土資料コーナー　A273 / 19 / 17

『一宮郷土読本』
大伴英邦/編　一宮市教育委員会　1956 年
7 階郷土資料コーナー　A273 / 13

『訪ねてみませんか一宮の史跡』
田中豊　2001 年　7 階郷土資料コーナー　A273 / 179

『縄文から弥生へ　馬見塚遺跡の時代』
一宮市博物館　2013 年
7 階郷土資料コーナー　A273 / シヨ

『馬見塚遺跡出土遺物調査報告書　１』
一宮市博物館/編集　松本彩/編著　一宮市教育委員会
2014 年　7 階郷土資料コーナー　A273 / イチ / 1

『新編一宮市史　資料編３　浅井古墳群』
一宮市　1963 年
7 階郷土資料コーナー　A273 / 19 / 3

『美濃路起宿と脇本陣林家』
一宮市尾西歴史民俗資料館　2017 年
7 階郷土資料コーナー　A682 / ミノ

インターネット情報

一宮市ホームページ「観光案内」※祭りのみ
http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/shisei/keizai/1010115/1000007/

一宮市博物館ホームページ
http://www.icm-jp.com

文化財ナビ愛知
http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/bunkazainavi/

『島文楽（昭和４７年9月７日)』　P6/2/5

インターネット、データベースもご活用ください。
7 階インターネットスペースではデータベースを利用して、新聞記事や国立国会図書館のデジタル資料が検索できます。

ここで紹介した資料がすべてではありません。
郷土に関する質問は 7 階カウンターでおたずねください。

一宮市立中央図書館
〒491-0858　　一宮市栄 3 丁目 1 番 2 号
尾張一宮駅前ビル（愛称：*i*- ビル）5～7 階
TEL：0586-72-2343　　FAX：0586-23-2136

愛知県の文化財を調べる

『愛知県史　別編文化財１～４』

愛知県史編さん委員会/編集　愛知県

2006 年・2011 年・2013 年・2015 年

7 階郷土資料コーナー　A201 / 78 / 3 - 1～4

『尾張の文化財とくらし』

愛知県社会科教育研究会尾張部会　1988 年

7 階郷土資料コーナー　A709 / 105

●文化財とは●

人類の文化的活動によって生み出された学問・芸術などで歴史的、文化的価値の高いものをさす。文化財保護法の対象としては、有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物（埋蔵文化財・史跡・名勝・天然記念物）、文化的景観、伝統的建物群の６種類があります。

参考文献『広辞苑第 7 版』岩波書店．2018 年．R813.1 / コウ

一宮の文化財を調べる

『一宮の文化財めぐり　増補改訂版』

一宮市文化財保護審議会/編集　一宮市教育委員会

1999 年　7 階郷土資料コーナー　A709 / 57 / 99

『一宮市の文化財』

一宮市文化財専門委員会/編集　一宮市教育委員会

1973 年　7 階郷土資料コーナー　A709 / 13 / 2

『一宮の文化財　文化財ガイドマップ』

一宮市教育委員会　2008 年

7 階郷土資料コーナー　A709 / 115 / 08

『一宮市文化財私見』

森徳一郎/著　一宮市青年史談会　1961 年

7 階郷土人コーナー　A709 / 9

『「一宮市文化財私見」追録』

山口恵三/著　一宮史談会　1978 年

7 階郷土資料コーナー　A709 / 9 / 2

『一宮の名宝　１～４』

一宮市博物館　1987 年・1988 年・1989 年・1994 年

7 階郷土資料コーナー　A709 / 104 / 1～4

『いちのみや文化財展』

一宮市博物館　2005 年

7 階郷土資料コーナー　A709 / 134

『のびゆく一宮』

一宮市教育研究会中学校社会科部/編集　一宮市教育委員会

2016 年　7 階郷土資料コーナー　A 273 / 30 / 16

『妙興寺散歩』

後藤利光/著　長嶋山妙興寺報恩禅寺　1982 年

7 階郷土資料コーナー　A187 / 26

『尾西市の文化財』

尾西市歴史民俗資料館/編集　尾西市教育委員会

1991 年　7 階郷土資料コーナー　A709 / ヒ

『木曽川町の文化財　第１集・第２集』

木曽川町教育委員会　1974 年・1981 年

7 階郷土資料コーナー　A709 / 49 / 1・2

民俗文化財を調べる

『起土人形・土鈴』

一宮市尾西歴史民俗資料館　2004 年

7 階郷土資料コーナー　A759 / オコ

『尾張のまつり』

愛知県社会科教育研究会尾張部会/編　尾張教育研究会

1992 年　7 階郷土資料コーナー　A386 / 63

『史録いちのみや』

松本勝二/著　郷土出版社　1986 年

7 階郷土資料コーナー　A273 / 96

『一宮の民俗』

一宮市教育委員会　1976 年

7 階郷土資料コーナー　A382 / 6

『一宮市指定無形民俗文化財臼台祭記録集　資料編』

瀬部山車・臼台祭保存会　2013 年

7 階閉架（館内閲覧のみ）　A386 / イチ

『「水法の芝馬祭」解説書』

一宮市教育委員会　1983 年

7 階郷土資料コーナー　A386 / ミス

『島文楽　その由来と携わってきた人びと』

島文楽保存会　1999 年

7 階郷土資料コーナー　A777 / 4

●島文楽とは●

島文楽は 1867（慶応 3）年に隣村の村人が美濃国から譲り受けた人形を島村に持ち込んだのが始まりとされています。
1961（昭和 36）年 3 月 27 日一宮市の無形文化財に、1989（平成元）年 3 月 22 日人形 36 体が一宮市の有形民俗文化財に指定されました。
現在、島文楽保存会が後継者を育成し、市内の小中学校や一宮市博物館などでの公演を通して、多くの市民に文楽のすばらしさを伝えています。
また、一宮市博物館の民俗芸能公演では島文楽、宮後住吉踊、ばしょう踊を見ることができます。

参考文献

『のびゆく一宮』一宮市教育研究会中学校社会科部/編集．一宮市教育委員会．2016 年．A273 / 30 / 16
『島文楽 その由来と携わってきた人びと』島文楽保存会．1999 年．A777 / 4